

笛吹市探訪

『ふるさととの祭り』五

「定林寺二子塚祭典」

10月9日・10日に定林寺で行われる二子塚祭典について紹介します。

定林寺は八代町南にある日蓮宗の寺です。文永年間（1264）1275、日蓮（注1）が法華経（注2）を広げるために現在の定林寺周辺を訪問しました。地藏堂（注3）に宿泊した時、東方の塚より鬼火が出たので、日蓮は理由を里の人に尋ねました。里の人から日蓮は『平家の落武者（母親）がここまで来て、二子を身ごもったまま亡くなった』。塚の片隅に埋められた母親と二子は成仏できず、鬼火になった』という話を聞きます。日蓮は法華経を唱え母親と二子の霊を成仏させ、二子鬼子母神（注4）・延命地藏菩薩（注5）をこの地に祀りました。

その後、日蓮の説法に感激した



『二子塚のサワラ』

地元の人が屋敷を寺に改めたのが定林寺の始まりといわれています。また定林寺の二子塚には母塚と子塚があります。子塚には市の天然記念物に指定されている『二子塚のサワラ』（注6）があり、子授けの霊木として信仰されています。

サワラの洞には『子授け石』が入っており、子どもを産みたい女性は『子授け石』を持ち帰り、身に付けていれば懐妊するといわれています。懐妊した女性は『子授け石』を洞に戻すそうです。

今年の二子塚祭典は10月9日に前夜祭が、10月10日に本祭が行われます。祭典の日だけ二子堂で『二

子鬼子母神像』と『延命地藏菩薩像』が開帳されます。

前夜祭では五重塔前に舞台が設けられ、境内で『稚児行列』（注7）が行われ、『天童献舞』（注8）が舞台で奉納されます。

本祭では昼間に本堂から二子塚まで稚児行列が行われ、本堂で『天童献舞』が奉納されます。

二子塚祭典は日蓮・二子鬼子母神へ感謝するために行われ、『天童献舞』は『子授け・安産へのお礼』として奉納されます。

注2 法華経 『大乘仏教の教典』のこと。日蓮宗では『題目を唱えれば、成仏への道を歩める』としています。

注3 地藏堂 日蓮が泊まったとされるお堂。地藏堂は建て直され、現在は祖師堂（開創者などの位牌や尊像を祀る堂）が建っています。

注4 鬼子母神 子ども・安産の守り神。二子堂の鬼子母神は二子を抱えています。

注5 延命地藏菩薩 安産・延命に利益がある地藏菩薩。二子堂の延命地藏菩薩像は石で造られています。

注6 二子塚のサワラ 高さ約17m。山梨県のサワラでは、最大クラスです。

注7 稚児行列 女の子が天冠（かんむり）を被り、造花を持って行進する行列。日蓮宗の寺院で、日蓮の命日等に行われる例が多くあります。

注8 天童献舞 小学校5・6年生の女の子が天冠を被り扇を持って舞います。



『本祭で行われた稚児行列』

注1 日蓮 鎌倉時代に日蓮宗を起こした僧。

今回の『笛吹市探訪』で使用した写真は定林寺より提供していただきました。